

憧れのザ・リッツ・カールトン東京に就職

Yuji Hashisakaさん

現在、ザ・リッツ・カールトン東京でルームサービスのサーバーを担当しています。簡単に言うと、客室でお客様の前でテーブルを作って、お料理をサーブする仕事です。ここに就職して約半年が経ちましたが、働くことが本当に楽しくて、日々とても充実しています。日本で大学を卒業して、一度就いた仕事を辞めてまでホスピタリティ業界で働きたくて、NZMAで勉強することを決心し留学して。そして今、いちばん憧れていたホテルで働いているのですから。今はただ、サーバーとして最高のサービスがお客様にできるようになりたいという一心で働いています。

そんな私のホスピタリティ業界への入り口となったのがNZMAなのですが、NZMAの強みは先ず「実習」だと思います。学内にカフェがあり、そこで食べ物や飲み物を作ったり、レジをしたり、チームワークを学んだり、ほかにもワインの開け方など、いろんな実習があり、それらを通して基本的なことが習得できるんです。またNZMAはホスピタリティ業界との太いパイプがあるのでアルバイトも含めて「就職」にとっても強いですね。私もNZMAの学生だった頃、グランドホテルでアルバイトをしていました。それに、ニュージーランドで留学することにも大きなメリットがあります。私はアメリカ留学も考えていたのですが、ニュージーランドの専門学校や大学に留学すると、働けるビザが取得でき、卒業すると1年間のオープン・ワークビザが与えられます。学生の中から仕事経験が積めるので、卒業時にジョブオファーが貰える可能性が高く、最終的に永住権取得に繋がりがやすいという環境、すなわち海外も含めて「就職」に直結していることがNZMAを選ぶ決め手となりました。そして、その理想通り、NZMAの学生生活を通して徐々にステップアップをし、今リッツ・



写真：2列目の左から2人目

カールトンで働くという一つ目の大きな夢を達成することができました。ザ・リッツ・カールトン東京にはオープニングスタッフとして採用されたので、従業員全員が同時にスタートし、初めから責任が与えられる素晴らしい環境で働くことができ、日々とてもやり甲斐を感じています。特に、お客様がチェックアウトの時にコメントを書いて下さるカードに、心温まるメッセージと私の名前が書かれた時などは最高の気分です。私

は接客がとにかく好きなので、これからもホスピタリティ業界で、担当の仕事をしっかりと基礎を固めながら、行ける所まで行きたいと思っています。

今、NZMAでの学生時代を振り返り、「NZMAに在る間に実習で基礎を学んだり、アルバイトをして経験を積んだり、吸収できる限りのことをいっぱい吸収し、全力でNZMAでの学生生活を楽しむことがみなさんの可能性を広げる」と僕は信じています。



ザ・リッツ・カールトン東京

ザ・リッツ・カールトン東京 人材開発部長 桧垣 真理子さん

私が面接の時にいつも一番大切にしていることは、その人の心です。お客様に最高のおもてなしをご提供するのためのノウハウは教えることができますが、「心」を教育するのはとても難しいことだと思うからです。橋阪さんは、面接時にサービスマインドがとても高いと感じたのを今でも覚えています。

ニュージーランドのホスピタリティの専門学校に留学するというのは、日本ではできないことにチャレンジする特別なチャンスだと思います。ですので、志を高く持って、今しか出来ないことを最大限に楽しんでください。キャリアだけではなく、人生に大きな影響を及ぼすでしょう。そして、卒業後、ホスピタリティ業界には活躍の場があると思います。リッツ・カールトンには、日本で活躍したい方だけでなく、将来海外で仕事がしたいという夢を持つ方にも、キャリアのチャンスが豊富にあります。

皆様にも、お会いできる機会を楽しみにしています。